

NETIS 情報	開発目標	経済性の向上、安全性の向上、作業環境の向上			
	新技術登録番号	CG-110026-A	区分	製品	有用な技術の位置づけ
	分類	仮設工 - その他			
	新技術名	大型土のう製作治具「瞬作」 (1トン土のうを少人数で安全かつ大量に製作出来る)			
	比較する従来技術 (従来工法)	専用補助具を使用しない大型土のう製作			
	新技術の概要及び特徴	本技術は大型土のう製作のための補助具であり、省人化を図り、安全性も向上し、大量の大型土のうが効率的に製作可能である。			
活用効果 評価	所見	<p>従来技術に比べて活用の効果は優れている。 なお、下記の理由により、経済性・工程・安全性・施工性については従来技術より優れた評価を得ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済性：少ない人数で効率的に大型土のうが製作できるため経済性に優れている。 ・工程：専用器具を使用する事により、1日当たりの製作個数が向上し、工程短縮になった。 ・安全性：袋の取付、取り外し以外は重機から離れられるため安全性は向上した。 ・施工性：専用治具のため袋の取付け、取外しが容易となり施工性に優れる。 <p>「特有性を有している」技術である。</p>			
	次回以降の評価に 対する視点と評価の 必要性	活用効果調査の結果、活用現場の違いによる大きな異差は認められないため、情報種類記号を「-VE」とし、今後の活用調査、事後評価は実施しないものとする。		<p>項目の平均(点)と従来技術(従来工法) (点)の比較</p> <p>— 従来技術(従来工法) — 新技術</p>	
	留意事項				
	活用効果調査表 における 改良点及び要望				
活用効果調査結果	対象工事	1	堤防本体工事		
		2	道路擁壁工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H27	
		3	道路改良工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H26	
		4	河川護岸工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H27	
		5	河川護岸工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H26	
		6	河川護岸工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H25	
		7	道路工事	「中部地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H28	
		8	橋梁補修工事	「東北地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H27	
		9	遊水地築堤工事	「近畿地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H27	
		10	河川堤防工事	「中部地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H27	
		11	橋梁耐震工事	「中部地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H27	
		12	河川護岸工事	「中部地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H27	
		13	排水機場工事	「北海道開発局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H27	
		14	河川修繕工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H26	
		15	河川維持工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H26	
		16	堤防工事	「近畿地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H26	
		17	河川護岸工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H26	
		18	トンネル工事	「近畿地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H25	
		19	航路浚渫工事	「九州地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H26	
		20	ダム工事	「九州地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H26	
		21	堤防耐震工事	「北陸地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H26	
		22	河道掘削工事	「関東地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H26	
		23	道路改良工事	「近畿地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H25	
		24	河川護岸工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H25	
		25	河川護岸工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H25	
		26	河道維持工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H25	
		27	河川堤防工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H25	
		28	河川堤防工事	「中国地方整備局」(従来技術:専用補助具を使用しない大型土のう製作) 施工者希望型(契約後提案) H24	

活用効果評価結果

公開版

平成28年度

東北地方整備局 / 新技術活用評価会議

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
[ケース番号 および年度		H28	H27	H26	H27	H26	H25	H28	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H26	H26	H26	H26	H25	H26	
施工時評価	経済性	B	B	C	C	B	C	A	A	C	B	B	C	A	B	C	C	B	C	C	
	工程	A	B	B	B	B	B	B	A	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
	品質・出来形	A	C	C	C	B	C	C	C	B	B	B	C	C	C	C	C	B	B	C	
	安全性	A	B	C	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	C	C	C	B	C	B	
	施工性	B	B	C	B	A	B	A	C	B	B	B	C	C	C	C	C	B	B	C	
	環境	C	C	C	C	C	B	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	C	C	C	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
総合評価点		B	B	C	C	B	C	B	B	B	B	B	C	B	C	C	C	B	C	C	
項目		20	21	22	23	24	25	26	27	28											
[ケース番号 および年度		H26	H26	H26	H25	H25	H25	H25	H25	H24											
施工時評価	経済性	C	B	A	B	C	C	C	C	C											
	工程	B	B	B	B	B	C	B	B	B											
	品質・出来形	A	C	C	B	C	C	C	B	C											
	安全性	A	B	C	B	B	C	B	B	B											
	施工性	A	C	C	B	B	B	B	B	B											
	環境	B	C	C	C	C	C	C	C	C											
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
総合評価点		B	C	B	B	C	C	C	B	C											
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後是非活用したい	活用を検討したい			場合によっては活用することもある			技術の改良を強く望む			優位性における判定										
	73%	23%			4%			0%			A	従来技術より大幅に優れる									
											B	従来技術より優れる									
											C	従来技術と同等									
											D	従来技術より劣る									
追跡調査の必要性		無し																			
追跡調査		-																			